

令和4年10月14日

保護者各位

鳥栖市立基里小学校  
校長 原 徹也

### 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

#### 1 令和4年度全国学力・学習状況調査について

令和4年4月19日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

##### (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 調査問題では、①と②が一体的に問われています。

##### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

#### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

##### (1) 国語について

- ・本校の国語の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・内容「知識及び技能」における「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国の平均正答率を上回っていました。「我が国の言語文化に関する事項」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、内容「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」については、全国平均と比較したときに同程度でした。
- ・「言語の特徴や使い方に関する事項」の出題の趣旨「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題においては、全国の平均正答率を大きく上回っていました。しかし、出題の趣旨「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」問題においては、全国の平均を大きく下回っており、課題が見られました。今後も、同じ音で異なる意味をもつ言葉を区別し、その場に合った表現を使うことができるような指導を行ってまいります。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

##### (2) 算数について

- ・本校の算数の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・「図形」「データの活用」の領域については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

- ・「数と計算」領域で、出題の趣旨「2つの数の最小公倍数」「除法で求めることができる理由を言葉や数を用いて記述する」問題については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。出題の趣旨「目的に合った数の処理の仕方を考察する」「加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈した後、他の場合における式や言葉を用いて記述する」問題については、全国の平均正答率を下回っていました。今後も目的に合った数の処理の仕方を考えさせたり、数量の関係を簡潔に、一般的に表現させたりすることで日常生活に生かせるように指導してまいります。
- ・「変化と関係」領域で、出題の趣旨「百分率で表された割合を分数で表す」「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて記述する」問題については全国の平均正答率を大きく上回っていました。一方、出題の趣旨「百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める」「数量が変わっても割合は変わらない」問題については、全国の平均正答率を大きく下回っていました。今後は、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解させたり、図や式などを用いて基準量や比較量の関係を表現させたりして指導してまいります。

### (3)理科について

- ・本校の理科の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・A区分「エネルギー」を柱とする領域については、全国平均と比較したときに同程度でした。A区分「粒子」B区分「生命」を柱とする領域については、全国の平均正答率を上回っていました。B区分「地球」を柱とする領域については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「生命」領域で、出題の趣旨「昆虫の育ち方に関わる観察で収集した情報について、自分の考えをもち、その内容を記述する」問題については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。「粒子」領域で、出題の趣旨「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち」問題についても、全国の平均を大きく上回っていました。
- ・「地球」領域で、出題の趣旨「観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して解釈し、自分の考えをもち」問題、「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解する」問題については、全国の平均正答率を大きく下回っていました。今後は、数量、変化の大きさの特徴を見つけ、自分の考えをもって表現し、他者と意見交換する重要性を児童に意識させます。また、児童が習得した知識を次の学習や生活等に生かし、科学的な言葉や概念を理解して説明できるようにする重要性を意識して授業改善を行ってまいります。

## 3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

### (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

- ・基本的な生活習慣「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」の項目については本校の回答では「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合が、全国の割合より6.5ポイント上回っていました。「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」の項目については本校の回答では全国の割合より0.8ポイント下回っていました。「朝食」の項目では、2.1ポイント上回っていました。
- ・家庭学習については、全国と比べて「計画的に学習している児童」の割合は同程度でした。「一日当たりの勉強をする児童」の割合は7.8ポイント上回っていました。
- ・「家庭に本がある児童」の割合は3.0ポイント上回っていました。「一日当たりの読書をする児童」の割合は6.5ポイント下回っていました。「新聞に目を通して読んでいる児童」の割合は、全国と比べて4.0ポイント上回っていました。今後は、重点的に読書指導等を行ってまいります。

ます。

- ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たり4時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をする児童（ゲームをする時間は除く）」の割合は、全国より6.3ポイント上回っていました。また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童」の割合は、全国より7.7ポイント下回っていました。今後も、携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画視聴の体にも与える影響について健康指導等を行ったり、情報モラル教育を推進したりしてまいります。
- ・国語科学習への興味・関心は全国と比べて15.0ポイント上回っていました。算数科学習への興味・関心は、全国と比べて3.0ポイント上回っていました。理科学習への興味・関心は、全国と比べて4.8ポイント上回っていました。
- ・ICTを「ほぼ毎日」「週1~3回以上」活用していると答えた児童の割合は、全国の割合より13.6ポイント上回っていました。
- ・下記の規範意識や自己有用感を示す事項については、全国平均を上回っていました。
  - 「学校に行くのは楽しい」
  - 「自分には、よいところがある」
  - 「人の役に立つ人間になりたい」
  - 「人が困っているときは、進んで助けている」
  - 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」
  - 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」
  - 「友達と協力するのは楽しい」
  - 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」
  - 「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」
  - 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」
  - 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」

#### 4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
- ・自分の考えや意見、分かったことを自分の言葉で表現する活動を、授業を中心に各教科に取り入れていきます。
- ・児童同士の関わりを大切にして、互いを認め合う場の設定を意識して指導していきます。
- ・授業の中で、児童に考えさせる場面や話し合わせる場面を多く取り入れるように工夫します。
- ・1時間の授業の流れを全校で統一し、めあてとまとめを明確にした授業を行います。
- ・授業のユニバーサルデザイン化のために、学習の流れを示すカードを提示して内容を視覚的に捉えさせます。
- ・電子黒板やデジタル教科書のさらなる有効活用に加え、タブレット等ICT機器の活用を継続し、より分かりやすい授業を目指します。
- ・ボランティアの方による「読み聞かせ」や読書指導により、読解力向上や豊かな心の育成に努めます。
- ・「家庭学習重点週間」を今後も継続することで、自分のがんばりを振り返らせ、がんばろうとする意欲の継続を図るとともに、学習規律や生活習慣の定着を図ります。

・家庭でも次のようなことに心がけてください。

**1 家庭での学習時間をつくってください。**

【学習時間：1・2年生 30分以上 3・4年生 50分以上 5・6年生 70分以上】

- ◎学習する時間や場所を決めて取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めて、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテストの書き直し等、復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

**2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。**

- ◎早めに起床し、必ず「朝食」を摂るように声掛けをしましょう。
- ◎学校での出来事等について、話したり聞いたりするようにしましょう。
- ◎最近読んでいる本の内容、新聞やテレビの話題について話し合みましょう。
- ◎お子さんががんばったことやよくできたことを、積極的にほめましょう。
- ◎親子で読書をする時間をもちましょう。

【本校の目標冊数：1・2年生：180冊 3・4年生：150冊 5・6年：130冊】